

日医発第 857 号 (局 367)

平成 16 年 11 月 11 日

郡市区医師会長殿

日本医師会

会 長 植 松 治 雄



署名運動の続行について (依頼)

平素より会務の運営については特段のご尽力を頂いておりますが、特に今般の国民医療推進協議会の各般に亘る運動について貴会並びに会員各位の絶大なるご支援に対し厚く御礼申し上げます。

日本医師会は規制改革・民間開放推進会議 官制市場民間開放委員会による財政主導型医療改革への反対意思表示を国民運動として取り組む姿勢で進めておりますが、今後ともこの考え方に立って運動を強化して参ります。今回頂戴する署名簿については国民の生の声として今月下旬、国会に請願させていただきます。しかしながら混合診療導入、株式会社参入等財政主導型医療改革を内閣の基本方針として強引に押し進める可能性も十分考えておく必要があります。したがって、国民医療推進協議会としては今後とも各種の国民運動を地道に粘り強く続けていかなければならないと考えております。

つきましては、現在お取り組み頂いております署名集めにつきましても 11 月 15 日付で締め切り、回収される署名簿は第 1 次分として前述どおり国会 (衆・参議長宛) に請願として提出いたします。われわれの運動にも拘わらず万一混合診療を医療保険制度に取り入れる事態となれば現行法 (健康保険法他) 改正の手続きが必要となり、日程的には次期通常国会が考えられます。したがって長丁場の運動となり各会員医療機関にとりまして大変なご苦勞をお掛けすることとは存じますが、11 月 16 日以降も引き続き現行方式で署名集めを続行して頂きたく貴会会員のご協力が得られるようご指導の程宜しくお願い申し上げます。回収・送付の時機については改めてご連絡申し上げます。11 月 16 日以降に集めて頂いた署名簿については第 2 次分として、今後の政府・与党の対応等を見極め、第 1 次分および他の国民運動との相乗効果を考え、適時適切に活用させて頂く考えでございます。

以上標題の件につきまして現下の情勢をご賢察頂き格別のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、貴所属 (都道府県) 医師会長にも別添 (写し) のとおり依頼していることを申し添えます。